

# 上平田ニュータウン改良住宅 外壁等改修工事

図番	区分	図面内容
特-1	仕様書	特記仕様書(1)
特-2	仕様書	特記仕様書(2)
特-3	仕様書	特記仕様書(3)
A-1	意匠	配置図・付近見取図
A-2	意匠	設計概要
A-3	意匠	求積図(1)
A-4	意匠	求積図(2)
A-5	意匠	仕上表
A-6	意匠	既存 1階 平面図
A-7	意匠	既存 2・3階 平面図
A-8	意匠	既存 4・5階 平面図
A-9	意匠	既存 R階 平面図
A-10	意匠	既存 立面図(1)
A-11	意匠	既存 立面図(2)
A-12	意匠	既存 断面図
A-13	意匠	外壁改修 1階平面図
A-14	意匠	外壁改修 2～R階平面図
A-15	意匠	外壁改修 立面図
A-16	意匠	外壁改修 断面図
A-17	意匠	階段室平面詳細図
A-18	意匠	外構図
A-19	電気	2～5階 共用電灯平面図

R2年度 塗装改修工事済範囲 記載有

訂正	年月日		 岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 <b>(株)アルファシステム</b> 一級建築士事務所(岩手県知事)登録お(2204)第1003号 管理建築士 一級建築士(大臣)登録 第234581号 柏館 旨緒	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
	年月日			R3 . 4 . 1				上平田ニュータウン改良住宅外壁等改修工事	—
備考					製図 A2	承認年月日	図面名称	縮尺	
					(A3印刷:71%縮小)		図面リスト	Non	

建築工事 特記仕様書 1			
土工事 (共建-3)	鉄筋工事 (共建-5)	高力ボルトのすべり耐力試験 (7.3.7)	ケイ酸系塗布防水 (9.7)
敷地整理 (3.2)	鉄筋 (5.2.1)	行う (すべり係数・すべり耐力) ※行わない	施工箇所 種別 備考
山留め (3.3)	種類 S D295A S D295B ( ) S D345 (※D19以上 ) S D390 (※D29以上 )	溶接技能者の技量付加試験 (7.4.3)	材料 ※既製品
排水 (3.5)	継手 D16以下 ※重ね継手 D19以上 ※ガス圧接継手 機械式継手 ( ) 溶接継手 ( )	溶接部の検査 (7.4.3)	材料 ※既製品 ・モルタル
埋戻し及び盛土 (3.6)	はり貫通孔補強 (5.5)	工場溶接部 ・超音波探傷試験 完全溶込み溶接部の % 外観検査 完全溶込み溶接部の %	※要 ( ) 年 (9.1.2)
建設発生土の処分 (3.7)	ガス圧接後検査 (5.6.2.1表)	現場溶接部 ・超音波探傷試験 完全溶込み溶接部の % 外観検査 完全溶込み溶接部の %	※要 ( ) (9.2.4)
地業工事 (共建-4)	コンクリート工事 (共建-6)	(注)検査は第三者検査とし、CIW認定 (種以上)の検査会社とする。 (7.8.1)	種別等 (9.8.2)
支持層の位置及び土質 ( )	共通事項 (6.3.2)	さび止め塗装 (7.8.1)	種類 施工箇所
検査及び施工試験 (4.1.4)	コンクリートの種類 (6.3.2)	耐火被覆 (7.11)	MS-2 開口部際
杭の載荷試験 ( )	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> ) (6.3.3)	耐火被覆 (7.11)	※シリコンシーリング材は、防カビ性・防汚染性のもを使用する
地盤の平板載荷試験 ( )	セメントの種類 (6.2.2)	発泡性耐火被覆材 (7.11.6)	石工事 (共建-10)
既製コンクリート杭 (4.2.2)	混和材料 (6.2.5)	コンクリートブロック・ALC等パネル工事 (共建-8)	石材 (10.2.1)
材料 ・プレテンション方式通心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・外殻鋼管付コンクリート杭 (SC杭) ・鉄筋または平鋼を入れた杭 (PRC杭) ・拡張断面を有する通心力高強度プレストレストコンクリート杭 (ST杭) ・その他特殊杭 ( )	スランブ (cm) (6.3.5)	補強コンクリートブロック (8.2.2)	品質 ※1等品(床用石材以外) ※2等品(床用石材) (10.1.2.b) (10.3) (10.4.1) (10.4.2) (10.4.3)
・支持層の位置及び土質 ( )	単位水量の最大値 (kg/m <sup>3</sup> ) (6.3.6)	ALCパネル (8.3.2)	施工箇所 種類・形状・寸法 仕上げ 取付け工法
・検査及び施工試験 (4.1.4)	試練り試験 (6.8.5)	防水工事 (共建-9)	テラソブロック、テラソタイル及び巖石 (10.1.2.b) (10.2.2) (10.4.4)
・杭の載荷試験 ( )	備考	改質アスファルトシート防水 (9.3)	取付け工法
・地盤の平板載荷試験 ( )	せき板の材料、種類 (A種) (6.7.2)	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
・既製コンクリート杭 (4.2.2)	種類 1種 2種 (6.11.2)	塗膜防水 (9.5)	湿式工法 ※2.3表
・材料 ・プレテンション方式通心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・外殻鋼管付コンクリート杭 (SC杭) ・鉄筋または平鋼を入れた杭 (PRC杭) ・拡張断面を有する通心力高強度プレストレストコンクリート杭 (ST杭) ・その他特殊杭 ( )	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> ) (6.11.2)	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	乾式工法 ※図示
・杭頭処理及び杭頭補強 ※図示	気乾単位体積質量 (t/m <sup>3</sup> ) (6.14.5)	防水工事 (共建-9)	目地の形状・寸法
・打込み杭工法	プレストレス導入時の圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> ) (6.14.5)	アスファルト防水 (9.2)	湿式工法
・セメントミルク工法、中廻り工法、プレローリング工法	空気量 % (6.16.3)	改質アスファルトシート防水 (9.3)	乾式工法 ※図示
・特定埋込み杭工法 ( )	水セメント比 (6.16.3)	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	目地の形状・寸法
・鋼杭 (4.3.2)	水セメント比 (6.17.3)	塗膜防水 (9.5)	取付け工法
杭頭部、先端形状 ※図示	鉄骨工事 (共建-7)	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
継手 ※溶接継手 ( )	鉄骨加工工場 (7.1.2)	防水工事 (共建-9)	湿式工法 ※2.3表
・打込み杭工法	使用材料 (7.2.1)	アスファルト防水 (9.2)	乾式工法 ※図示
・埋込み杭工法	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	改質アスファルトシート防水 (9.3)	目地の形状・寸法
・特定杭工法 ( )	設計基準強度 ・F c N/mm <sup>2</sup> ( )	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	湿式工法
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	スランブ ・ cm ( )	塗膜防水 (9.5)	乾式工法 ※図示
材料	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	目地の形状・寸法
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	鋼材 ・ S S 400	防水工事 (共建-9)	取付け工法
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	アスファルト防水 (9.2)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
構造体強度補正值 ( mSn) ※3 N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	改質アスファルトシート防水 (9.3)	湿式工法 ※2.3表
スランブ ・ cm ( )	材料	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	乾式工法 ※図示
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	塗膜防水 (9.5)	目地の形状・寸法
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	取付け工法
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	防水工事 (共建-9)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	アスファルト防水 (9.2)	湿式工法 ※2.3表
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	改質アスファルトシート防水 (9.3)	乾式工法 ※図示
材料	工法	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	目地の形状・寸法
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	塗膜防水 (9.5)	取付け工法
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
スランブ ・ cm ( )	材料	防水工事 (共建-9)	湿式工法 ※2.3表
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	アスファルト防水 (9.2)	乾式工法 ※図示
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	改質アスファルトシート防水 (9.3)	目地の形状・寸法
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	取付け工法
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	塗膜防水 (9.5)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	湿式工法 ※2.3表
材料	工法	防水工事 (共建-9)	乾式工法 ※図示
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	アスファルト防水 (9.2)	目地の形状・寸法
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	改質アスファルトシート防水 (9.3)	取付け工法
スランブ ・ cm ( )	材料	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	塗膜防水 (9.5)	湿式工法 ※2.3表
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	乾式工法 ※図示
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	防水工事 (共建-9)	目地の形状・寸法
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	アスファルト防水 (9.2)	取付け工法
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	改質アスファルトシート防水 (9.3)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
材料	工法	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	湿式工法 ※2.3表
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	塗膜防水 (9.5)	乾式工法 ※図示
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	目地の形状・寸法
スランブ ・ cm ( )	材料	防水工事 (共建-9)	取付け工法
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	アスファルト防水 (9.2)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	改質アスファルトシート防水 (9.3)	湿式工法 ※2.3表
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	乾式工法 ※図示
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	塗膜防水 (9.5)	目地の形状・寸法
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	取付け工法
材料	工法	防水工事 (共建-9)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	アスファルト防水 (9.2)	湿式工法 ※2.3表
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	改質アスファルトシート防水 (9.3)	乾式工法 ※図示
スランブ ・ cm ( )	材料	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	目地の形状・寸法
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	塗膜防水 (9.5)	取付け工法
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	防水工事 (共建-9)	湿式工法 ※2.3表
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	アスファルト防水 (9.2)	乾式工法 ※図示
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	改質アスファルトシート防水 (9.3)	目地の形状・寸法
材料	工法	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	取付け工法
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	塗膜防水 (9.5)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	湿式工法 ※2.3表
スランブ ・ cm ( )	材料	防水工事 (共建-9)	乾式工法 ※図示
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	アスファルト防水 (9.2)	目地の形状・寸法
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	改質アスファルトシート防水 (9.3)	取付け工法
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	塗膜防水 (9.5)	湿式工法 ※2.3表
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	乾式工法 ※図示
材料	工法	防水工事 (共建-9)	目地の形状・寸法
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	アスファルト防水 (9.2)	取付け工法
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	改質アスファルトシート防水 (9.3)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
スランブ ・ cm ( )	材料	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	湿式工法 ※2.3表
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	塗膜防水 (9.5)	乾式工法 ※図示
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	目地の形状・寸法
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	防水工事 (共建-9)	取付け工法
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	アスファルト防水 (9.2)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	改質アスファルトシート防水 (9.3)	湿式工法 ※2.3表
材料	工法	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	乾式工法 ※図示
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	塗膜防水 (9.5)	目地の形状・寸法
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	取付け工法
スランブ ・ cm ( )	材料	防水工事 (共建-9)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	アスファルト防水 (9.2)	湿式工法 ※2.3表
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	改質アスファルトシート防水 (9.3)	乾式工法 ※図示
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	目地の形状・寸法
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	塗膜防水 (9.5)	取付け工法
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
材料	工法	防水工事 (共建-9)	湿式工法 ※2.3表
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	アスファルト防水 (9.2)	乾式工法 ※図示
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	改質アスファルトシート防水 (9.3)	目地の形状・寸法
スランブ ・ cm ( )	材料	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	取付け工法
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	塗膜防水 (9.5)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	湿式工法 ※2.3表
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	防水工事 (共建-9)	乾式工法 ※図示
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	アスファルト防水 (9.2)	目地の形状・寸法
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	改質アスファルトシート防水 (9.3)	取付け工法
材料	工法	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	塗膜防水 (9.5)	湿式工法 ※2.3表
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	乾式工法 ※図示
スランブ ・ cm ( )	材料	防水工事 (共建-9)	目地の形状・寸法
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	アスファルト防水 (9.2)	取付け工法
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	改質アスファルトシート防水 (9.3)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	湿式工法 ※2.3表
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	塗膜防水 (9.5)	乾式工法 ※図示
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	目地の形状・寸法
材料	工法	防水工事 (共建-9)	取付け工法
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	アスファルト防水 (9.2)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	改質アスファルトシート防水 (9.3)	湿式工法 ※2.3表
スランブ ・ cm ( )	材料	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	乾式工法 ※図示
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	塗膜防水 (9.5)	目地の形状・寸法
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	取付け工法
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	防水工事 (共建-9)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	アスファルト防水 (9.2)	湿式工法 ※2.3表
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	改質アスファルトシート防水 (9.3)	乾式工法 ※図示
材料	工法	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	目地の形状・寸法
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	塗膜防水 (9.5)	取付け工法
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
スランブ ・ cm ( )	材料	防水工事 (共建-9)	湿式工法 ※2.3表
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	アスファルト防水 (9.2)	乾式工法 ※図示
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	改質アスファルトシート防水 (9.3)	目地の形状・寸法
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	取付け工法
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	塗膜防水 (9.5)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
・場所打ちコンクリート杭 (4.4.3)	鋼材 ・ S S 400	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	湿式工法 ※2.3表
材料	工法	防水工事 (共建-9)	乾式工法 ※図示
セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種	・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	アスファルト防水 (9.2)	目地の形状・寸法
設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁 (4.5.2)	改質アスファルトシート防水 (9.3)	取付け工法
スランブ ・ cm ( )	材料	合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4)	金物の種類、形状・寸法 (10.2.3) (10.2.4) (10.5.4)
鉄筋 ・ D 以下 S D295A ・ D 以上 S D345 ・ D 以上 S D390	セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種	塗膜防水 (9.5)	湿式工法 ※2.3表
鋼材 ・ S S 400	設計基準強度 ・ F c N/mm <sup>2</sup> ( )	ポリマーセメント系塗膜防水 (9.6)	乾式工法 ※図示
工法 ・ 拡底杭工法 (認定工法) ・ アースドリル工法 ・ ペノト工法 ・ リバースサーキュレーション工法 ・ 深礎工法	スランブ ・ cm ( )	防水工事 (共建-9)	目地の形状・寸法
・特定杭工法 ( )	鉄筋 ・ D 以下 S D295A		

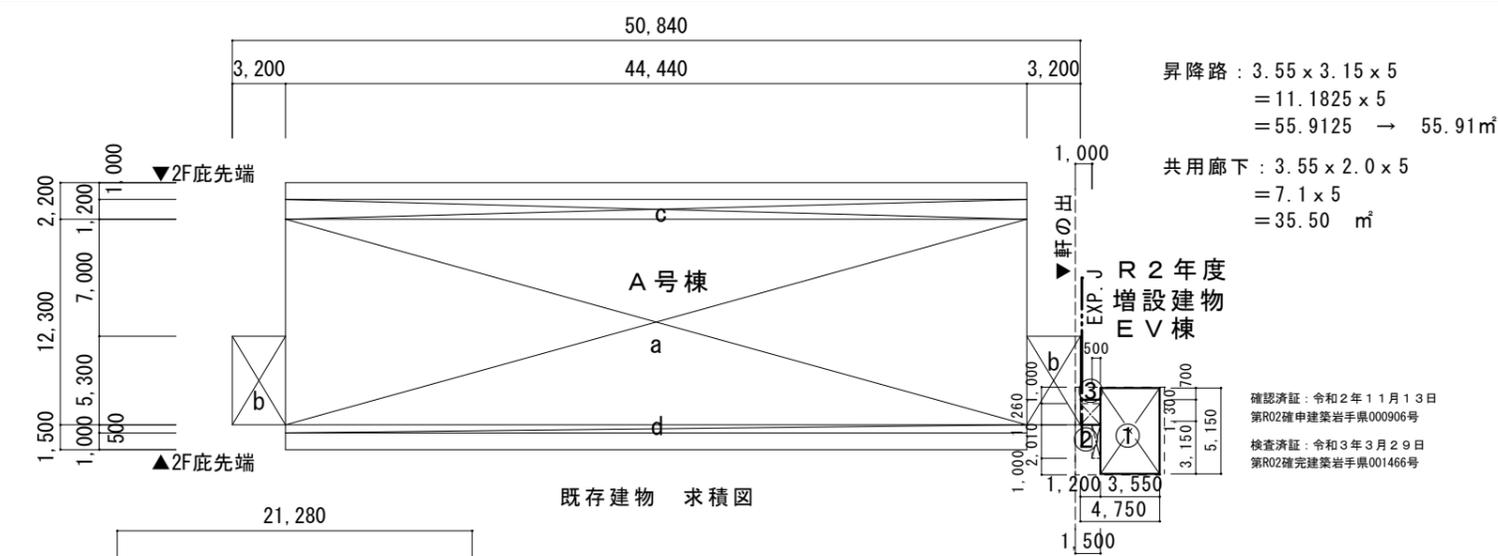


建築工事 特記仕様書 3

・石膏ボード、 その他ボード張り  ・合板張り  ・壁紙  ・断熱・吸音 防露・防湿材料	・ニードルパンチカーベット (20.6.1.e) 種類 厚さ 下敷き材 備考 ※4.0程度				ユニット工事 (共建-22) ・ユニットバス (22.2.1) ・煙突 (22.2.2) ・成形ライニング材 (22.2.2) ・カボスタックスーパー(丸型) ・セラスタック(核型) ・ハイスタック(丸型・角型・オーバル型) ・寸法( ) ・その他の材 ・耐火煉瓦 ・( ) 寸法( ) 材質 ・ステンレス ・アルミ ・プラスチック (22.2.3) ・その他( ) 形状 ・ガラリ ・レジスター ・パイプ ダンパー ・有 ・無 防虫(防鳥)網 ・有 ・無					・外構工事 (共建-23) ・アスファルト舗装 表層仕上げ ・カラー舗装( ) ・排水性舗装 ・透水性舗装 (23.2.5) ・その他( ) ・表層厚( ) ・その他の舗装 ・インターロッキング( ) ・タイル( ) (23.2.8) ・石( ) ・その他( )				
	(20.7.1.a) 種類、種別 厚さ 防火性能 目地処理工法				・換気口  ・サインなど (22.2.4) 取付け場所 材質 寸法 メーカー品番 その他					補装工事 (共建-24) ・屋上、人工地盤用土 (24.2.9) ・樹木地下支持装置 (24.1.3) ・土壌試験 (24.1.4) ・補込み用土 (24.1.6) ・土壌改良材 (24.1.6) ・防根・透水シート(凹凸シートア) (24.2.8) ・特殊防根材(通気ブロック) ( ) (その他) ( )				
	・パーティクルボード ・MDF (20.7.1.b) (20.8.1)				・避難器具 (22.2.5) ・救命袋 ・緩降機 ・避難はしご ・避難ハッチ ・その他( )					取付け場所 布地材 レール材 形式 その他				
	種類 樹種 厚さ 耐水性能 ・普通合板 ・難燃合板(内装) ・天然木化粧合板 単板 単板厚※0.3以上 ・特殊加工化粧合板 種類、形状、寸法 (20.9.1.a)				・カーテン (22.2.9) 取付け場所 形式 材質 その他					取付け場所 形式 材質 その他				
	施工箇所 種類 防火種別 備考				・ブラインド (22.2.10) 取付け場所 形式 材質 その他									
	施工箇所 種類 厚さ 備考													
	外装カーテンウォール工事 (共建-21)				・視覚障害者誘導床表示 (10.6) (11.2.1.f) (20.2.1.d) (20.3.1.b) (20.5.1.h) (20.6.1.h) (22.2.15) (23.2.10) (点字ブロック、点字紙等)					種類 形状・材質 設置場所 ・タイル ※300角 ・塩ビタイル ※300角 ・ブロック類 ※300角( ) ・金属板 ※300角(※ステンレス・真ちゅう) ・樹脂製板 ※300角				
	・金属カーテンウォール 種類 ・標準品 ( ) (21.5.1) ・特注品 図示 ・プレキャストコンクリート 性能 ・断熱( ) ・遮音( ) ・耐風圧( ) (21.5.2) ・耐震( ) ・水密( ) ・気密( ) ・耐火( ) ・精度( ) ・耐温度差( ) ・層間変位( )				・可動間仕切壁 (22.2.13) ・パネル式(・スチール・アルミ) ・スタッドパネル式(・スチール・アルミ) ・耐火・遮音(等級) ・表面仕上( ) (22.2.14) ・走行方向(・平行方向移動式 ・二方向移動式) ・操作方法(・手動式・電動式 ・部分電動式) ・表面仕上( ) ・パネル圧接装置( ) ・遮音性能(・36dB未満 ・36dB以上)									





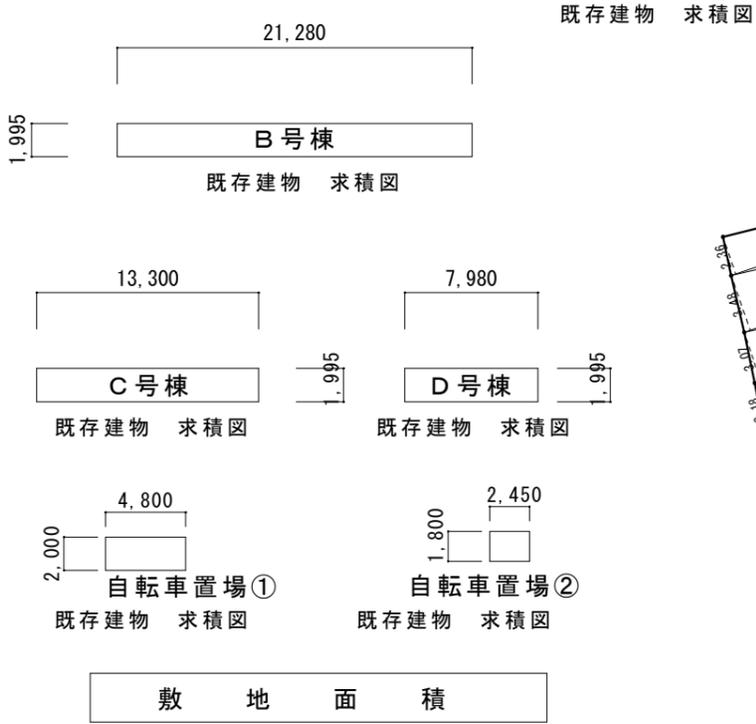


		E V 棟				合計	
E V 棟	①	3.55	×	5.15	=	18.2825	20.7995
	②	0.50	×	2.01	=	1.005	
	③	1.26	×	1.20	=	1.512	
合計						20.79 m <sup>2</sup>	

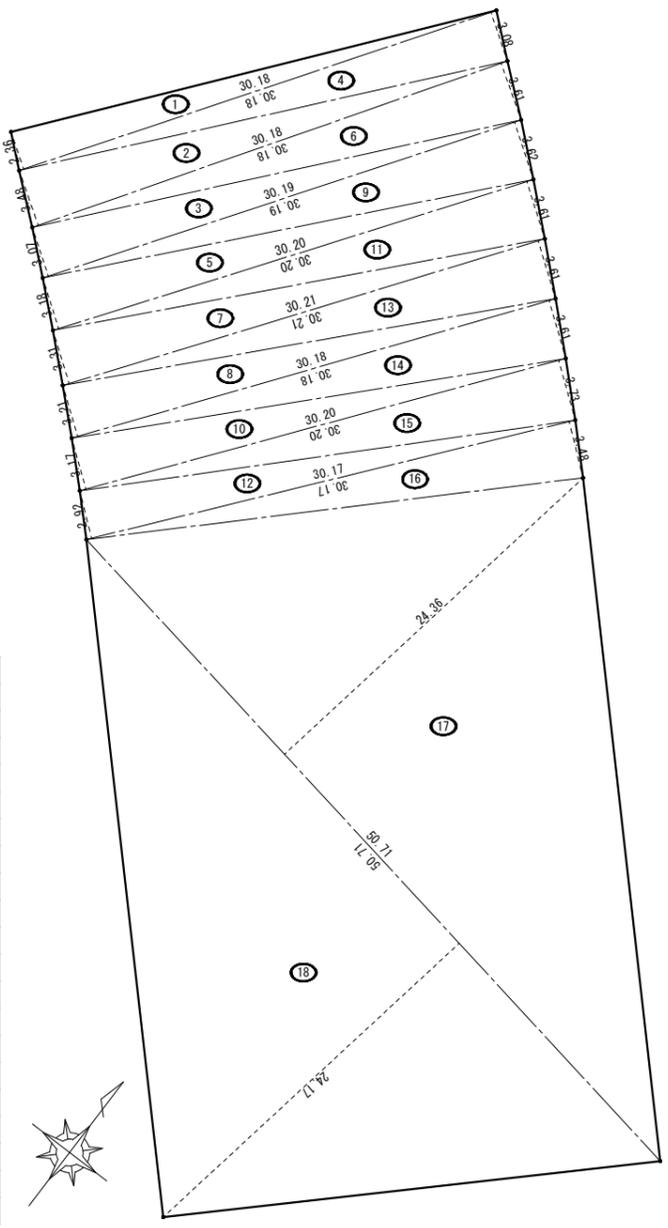
		E V 棟				合計		
E V 棟	1 F	①	3.55	×	5.15	=	18.2825	18.28 m <sup>2</sup>
	2 F	①	3.55	×	5.15	=	18.2825	18.28 m <sup>2</sup>
	3 F	①	3.55	×	5.15	=	18.2825	18.28 m <sup>2</sup>
	4 F	①	3.55	×	5.15	=	18.2825	18.28 m <sup>2</sup>
	5 F	①	3.55	×	5.15	=	18.2825	18.28 m <sup>2</sup>
		計				91.40 m <sup>2</sup>		

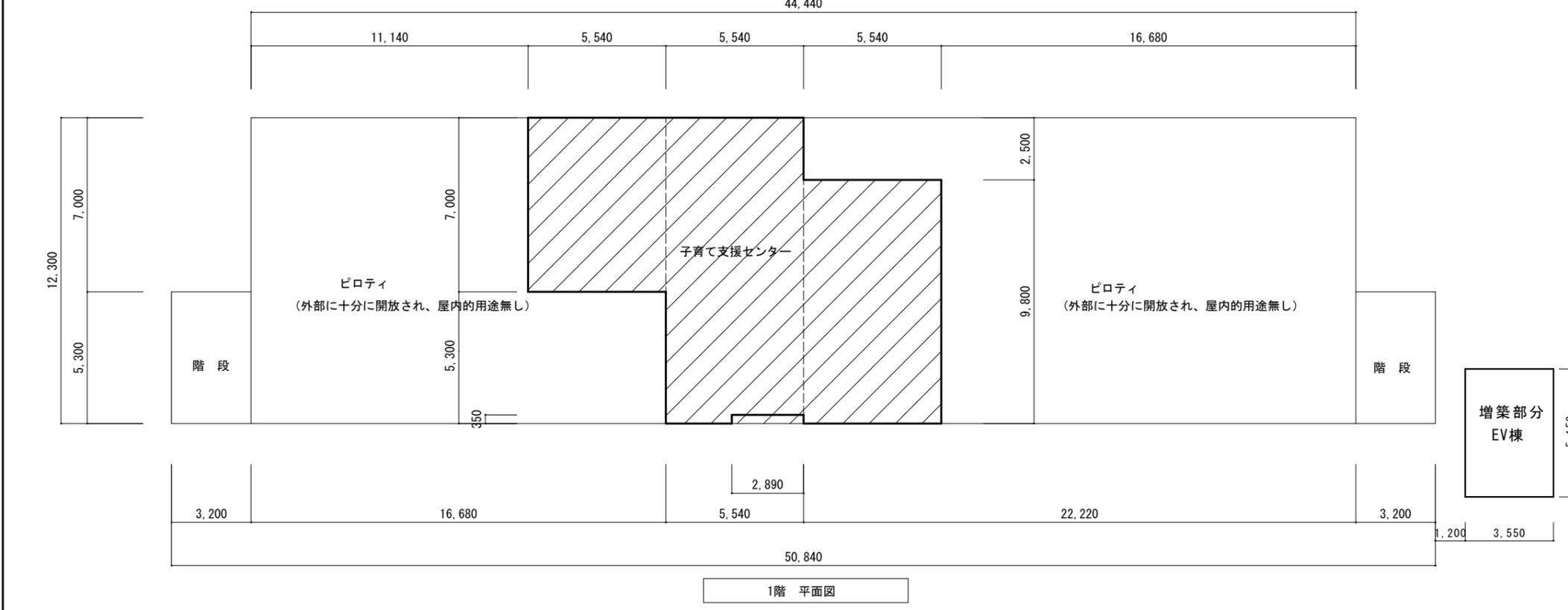
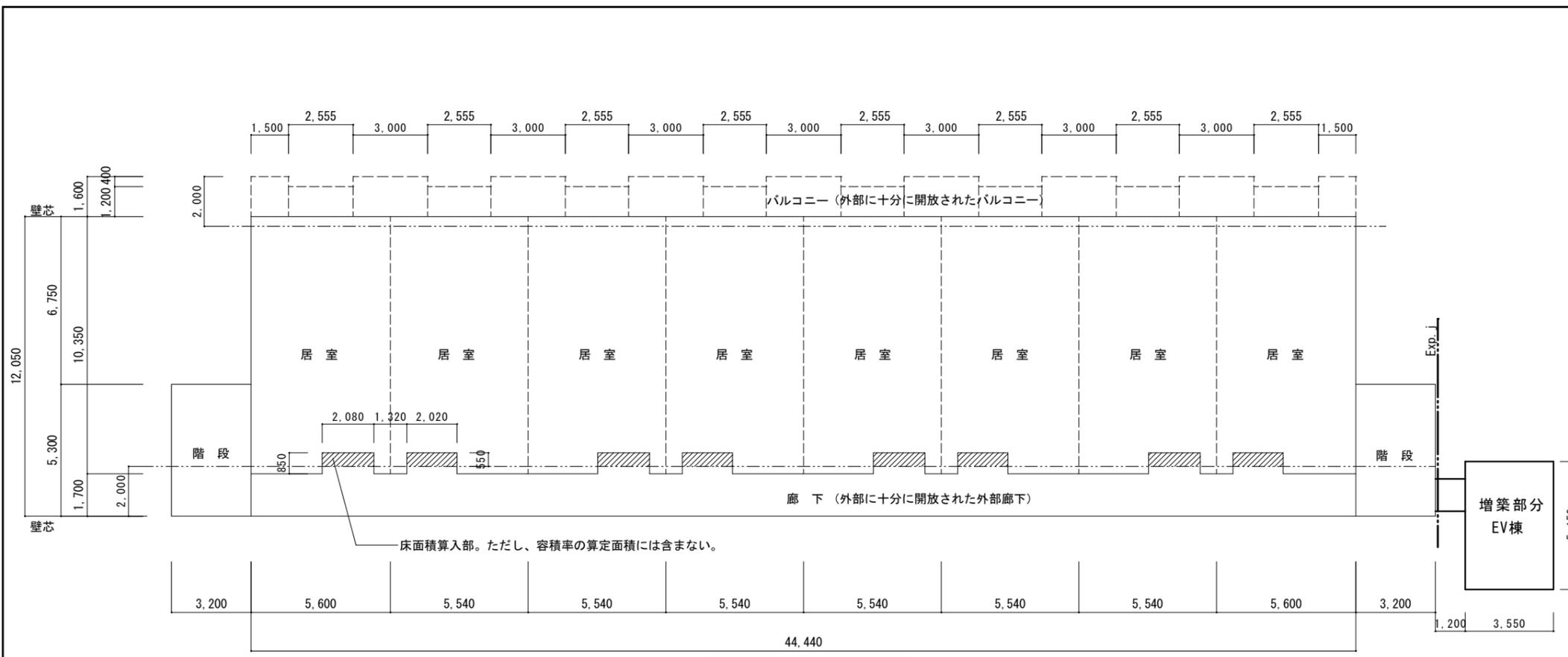
		A P 棟等				合計	
A 号棟	a	44,440	×	12,300	=	546.61	656.07
	b	3,200	×	5,300 × 2	=	33.92	
	c	44,440	×	1,200	=	53.32	
	d	44,440	×	500	=	22.22	
B 号棟		21,280	×	1,995		42.45	
C 号棟		13,300	×	1,995		26.53	
D 号棟		7,980	×	1,995		15.92	
自転車置場①		4,800	×	2,000		9.60	
自転車置場②		2,450	×	1,800		4.41	
合計						754.98	

		A P 棟等				合計	
A 号棟 (図A-4より)	1 F	子育て支援センター + 階段		160.20 + 33.92	=	194.12	194.12
	2 F	居室 + 階段 + 廊下		446.11 + 33.92 + 8.95	=	488.98	488.98
	3 F	居室 + 階段 + 廊下		446.11 + 33.92 + 8.95	=	488.98	488.98
	4 F	居室 + 階段 + 廊下		446.11 + 33.92 + 8.95	=	488.98	488.98
	5 F	居室 + 階段 + 廊下		446.11 + 33.92 + 8.95	=	488.98	488.98
	小計						2,150.04
B 号棟		21.28	×	1.995		42.45	
C 号棟		13.30	×	1.995		26.53	
D 号棟		7.98	×	1.995		15.92	
自転車置場①		4.80	×	2.000		9.60	
自転車置場②		2.450	×	1.800		4.41	
総合計						2,248.95	



番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	30.18	2.36	71.2248	35.61240
2	30.18	3.48	105.0264	52.51320
3	30.19	3.07	92.6833	46.34165
4	30.18	3.08	92.9544	46.47720
5	30.20	3.18	96.0360	48.01800
6	30.18	3.61	108.9498	54.47490
7	30.21	3.31	99.9951	49.99755
8	30.18	3.21	96.8778	48.43890
9	30.19	3.62	109.2878	54.64390
10	30.20	3.17	95.7340	47.86700
11	30.20	3.61	109.0220	54.51100
12	30.17	2.92	88.0964	44.04820
13	30.21	3.61	109.0581	54.52905
14	30.18	3.61	108.9498	54.47490
15	30.20	3.73	112.6460	56.32300
16	30.17	3.48	104.9916	52.49580
17	50.71	24.36	1,235.2956	617.64780
18	50.71	24.17	1,225.6607	612.83035
合計				2,031.24480
敷地面積				2,031.24 m <sup>2</sup>





既存面積表

				合計
1階	子育て支援センター	$5,540 \times 7,000 =$	38.780	160.20
		$5,540 \times 12,300 =$	68.142	
		$5,540 \times 9,800 =$	54.292	
		$\Delta 2,890 \times 350 = \Delta$	1.011	
	ピロティ	$11,140 \times 12,300 =$	137.022	386.40
	$5,540 \times 5,300 =$	29.362		
	$5,540 \times 2,500 =$	13.850		
	$16,680 \times 12,300 =$	205.164		
	$2,890 \times 350 =$	1.011		
階段	$3,200 \times 5,300 \times 2 =$	33.920	33.92	
合計				580.52
2～5階	専用部分	居室	$40,440 \times 10,350 =$	418.554
			$2,08 \times 0,85 \times -8 =$	-14.144
		小計	403.41	403.41
	共用部分	バルコニー	$2,555 \times 1,200 \times 8 =$	24.528
			$3,000 \times 1,600 \times 8 =$	38.40
	小計	62.928	62.92	
廊下	$2,08 \times 0,55 \times 8 =$	9.152	9.15	
階段	$3,200 \times 5,300 \times 2 =$	33.920	33.92	
小計				43.07

住宅部分	1階 階段	$33.92$	33.92
	2～5階 階段	$33.92 \times 4 =$	135.68
	2～5階 廊下	$9.15 \times 4 =$	36.60
	2～5階 居室	$403.41 \times 4 =$	1,613.64
合計			1,819.84 m <sup>2</sup>

外部仕上表【既存改修建物】

部 位	既 存	改 修
屋 根	屋上防水 塩ビシート防水	既存のまま
外 壁	RC造 モルタル アクリルリシン吹付け塗装	ひび割れ・剥離補修のうえ 吹付け改修 可とう形外装薄塗材E 【北側階段以外】
柱	RC造 モルタル アクリルリシン吹付け塗装	ひび割れ・剥離補修のうえ 吹付け改修 可とう形外装薄塗材E 【北側階段以外】
梁	RC造 モルタル アクリルリシン吹付け塗装	ひび割れ・剥離補修のうえ 吹付け改修 可とう形外装薄塗材E 【北側階段以外】
床 (2F~)	RC造 ウレタン防水	ウレタン防水改修
廊下天井	防火板 EP塗装	防火板撤去下地再利用 ケイ酸カルシウム板 6mm EP塗装改修
バルコニー	RC造 ウレタン防水	ウレタン防水改修
階 段	踏み面・蹴上：モルタル塗り	ひび割れ・欠けの補修・ウレタン防水改修、ノンスリップ改修 【北側階段以外】
玄 関 戸	スチール製玄関戸	DP塗装改修（表面）
開 口 部	アルミ製建具	シーリング改修
雨 樋	鋼製 100φ	DP塗装改修
アルミパネル	アルミ製柱・アルミパネル	既存のまま
笠木	モルタル笠木	欠け・ひび割れ補修
階段手すり	樹脂製	内側：既存のまま、外周面：DP塗装
庇	RC造 ウレタン防水	ウレタン防水改修
ピロティ	RC造 土間コン	柱・内側壁：ひび割れ・剥離補修のうえ 吹付け改修 可とう形外装薄塗材E

仕上表【既存EV棟】既存のまま

部 位	仕 様	備 考
屋 根	折板屋根 t=0.8 山高166 軒先現し	30分耐火 FP030RF-0605 (フネンエース等)
外 壁	押出成形セメント板 t=60 縦張り 吹付け塗装	1時間耐火 FP060NE-9036
柱	押出成形セメント板+吹付けロックウール (25・45mm以上)	1時間耐火 FP060CN-0538-2 2時間耐火 FP120CN-9240
梁	押出成形セメント板+吹付けロックウール (25・45mm以上)	1時間耐火 FP060BM-0332 2時間耐火 FP120BM-9208
床 (2F~)	デッキ合成スラブ 長尺シート t=2.5	1時間耐火 FP060FL-0079 2時間耐火 FP120FL-0183
現し梁	防火塗料塗布	1時間耐火 FP060BM-9419 2時間耐火 FP120BM-0276
天 井	ケイ酸カルシウム板 t=6 EP塗装	
内 壁	ケイ酸カルシウム板 t=6 EP塗装	
間仕切り壁	LGS100+強化石膏ボード t=21x2重	1時間耐火 FP060NP-0007
開 口 部	アルミ製建具、鋼製三方枠	1F出入り口には施錠機能無し
雨 樋	鋼製 100φ	
雪 止 め	SUSアングル	
サイン	各階表示サイン	
手すり	渡り廊下：スチール製 SOP塗装	
庇	アルミ庇 L=600 W=2200	
エレベーター	構造計算荷重条件：東芝エレベーター 乗用 (SRT9-2S60) 9人乗り	トランク付き 兼車いす用、1~5F各階停止、2枚戸片開き

















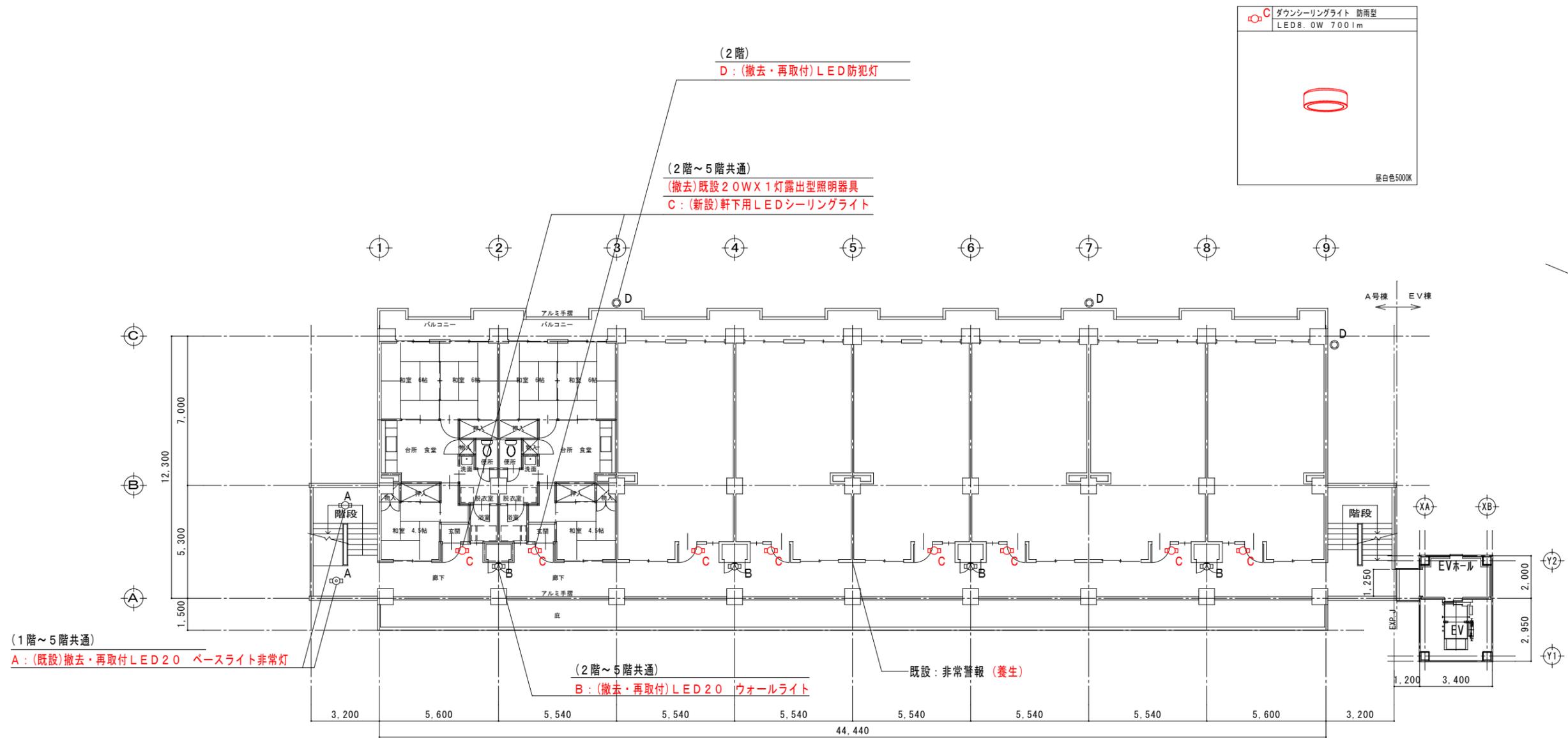












2～5階 平面図 S:1/150

訂正	年月日	 岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファシステム</b> 一級建築士事務所 (岩手県知事) 登録お(2204) 第1003号 管理建築士 柏館 旨緒 一級建築士 (大臣) 登録 第234581号	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
	年月日		R3 . 4 . 1				上平田ニュータウン改良住宅外壁等改修工事	A - 19
備考					製図 A 2 (A3印刷: 71%縮小)	承認年月日	図面名称	縮尺
					2～5階 共用電灯平面図	1/150		